

せせらぎ



令和元年10月23日発行 No.6

今回は、3年生道徳科の授業の様子をお伝えします。みんなが大切にしたい場所や物に対して、自分はどのように接してきただろうか。また、これからはどのように接していけばよいか？資料「みんなのわき水」を読み考えました。どの子も、自分だったらどのようにするか、主人公の気持ちを考えることができました。

校内研究授業 10/15 (火)

3年道徳「みんながたいせつにしたい場所」

指導者

ねらい「みんなで使う場所を気持ちよく使うためには、どんなことが大切なのか考え、公共のために進んで行動しようとする心情を育てる。」

つかむ

1. 「めあて」をもとう
2. 「見通し」をもとう

学校や地域の写真を見て、公共の場所について確認しています。



めあて
「みんなで使う場所を気持ちよく使うためには、どんなことが大切なのか？」主な登場人物・・・



追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

資料を読んで、主人公「こうちゃん」の行動について考え、話し合いました。



カードを使い、自分が主人公の立場だったどうするのか、一人一人が意志表示し、理由を発表しました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 「ふりかえり」をしよう

みんなで使う場所は、どのように使うことが大切なのか、班や全体で話し合いました。



まとめ
「みんなのためにきれいにする」「面倒なことでも、みんなのために行動する」という意見が出ました。

子供たちは、公共の場所を気持ちよく使うためには、どんなことが大切なのか考え、公共のために進んで行動しようとする心情を育てることができました。

授業研究会では、「主人公の気持ちを考えたり、自分が主人公の立場であればどうするのかしっかりと考えることができていた。」という意見が出されました。

